

感動！厳寒の糠平湖キノコ氷とタウシユベツ橋梁

毎月10日間ほど帯広に滞在した湖の水位が低下した冬場に十勝産小麦のパン教室を開講していましたが、十勝を離れているときでも十勝毎日新聞社のWEB TOKACHIでリアルタイムにニュースを閲覧することができ、大変活用させていたでいます。

新年早々にも陸別町で最低気温が氷点下30度まで下がるなど、十勝の厳しい冬の寒さに驚かされました。

1月9日付の記事の中から「糠平湖のキノコ氷」に目が留まりました。水中に木の切り株が多く残っている糠平湖は、凍った湖の水位が低下した冬場に切り株上の氷がそのまま残る「キノコ氷」がたくさん出現するそうです。糠平湖に沈む幻の橋「タウシユベツ橋梁（きょうりょう）」も以前から一度見学してみたい場所でもあったので、1月下旬、厳寒の糠平湖に出掛けました。

まちまい論壇



「シユベツ橋梁」を目指して氷結した糠平湖上を往復約4キロ歩かなければなりません。ベテランのガイドが案内してくれるので、安全面などで心配なことはありませんでしたが、寒い気温と雪の中を歩くために所要時間は3時間以上になります。

十勝生まれの私ですが、4キロ雪原を歩くのは初めての経験で、不安を抱きながらスタートしました。

「キノコ氷」の向こうに「タウシユベツ橋梁」が見えてきたときには、思わず歓声を上げてしまいました。

湖上に出るまでしばらく林の中を歩きますが、キラキラ輝く美しいダイヤモンドダスト、エゾシカやエゾリスの足跡が私たちの目を楽しませてくれました。林を抜けると氷結した広大な糠平湖が目の前に広がり、原生林に覆われた美しい山々と

湖の中央から見上げた青い空と周囲の山々の言葉に表せないほどの神々しい美しさは、その場に立った者のみが味わうことのできる感動の体験です。

夢工房 y. b. H. 代表
「十勝産小麦パン教室」
主宰

早川 喬恵

「タウシユベツ橋梁」は糠平湖の水位が下がったときのみに姿を現す「幻の橋」のため、水没による水圧と凍結・融解を繰り返す凍害の影響で崩壊寸前の状態でした。真冬の見学ツアーは氷が解け出す3月中旬まで開催されていますので、皆さんも歴史のロマンと雄大な十勝の自然を感じてみませんか。